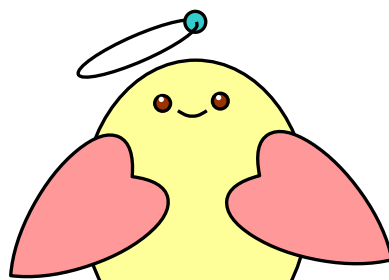


# 令和6年度 事業計画



上越市社協  
マスコットキャラクター  
「ぬくりん」

**共に生き 共につくる 福祉社会を目指して**

～いつまでも住み慣れた地域で、心豊かな健やかで生きがいのある生活を～



社会福祉法人 上越市社会福祉協議会

## 基本方針

民間調査機関による、2023年に発生した介護事業所の休・廃業や解散、倒産数をまとめたレポートでは、2010年以降で最多となる、510件もの事業所が休・廃業や倒産に追い込まれたことが明らかとなり、「人手不足などで経営が悪化したため、倒産する前に事業の継続を断念した事業所が多いのではないかと」と分析しています。また、コロナ感染症が5類に移行するとともに、社会生活はコロナ禍前に戻りつつある状況下ではありますが、全国の介護事業所の現状を鑑みつつ、法人においては、細心の注意を払いながら、山積する福祉課題への対応には、柔軟に、その時々合った福祉サービスの提供に努めてまいります。

このような厳しい環境にあります。上越市社会福祉協議会の基本理念「共に生き共につくる福祉社会を目指して」及び行動理念「あなたを独りにしない」を引き続き実践するとともに、常に地域住民に寄り添いながら、社協のネットワークを活かした地域住民を包括的に支える仕組みづくりを進めてまいります。

地域福祉関係では、4年目を迎える「第3次運営・事業実施計画」に基づいた事業の評価を行い、第2次上越市地域福祉活動計画(令和5年度～8年度)の周知を図りながら、地域自治体を単位とする地区地域福祉活動計画の策定支援に努めるとともに、行政や住民組織・町内会等と緊密に連携し、暮らしやすい福祉のまちづくりを目指します。また、上越市からの委託事業については、新規・継続事業共に、市との連携を図り的確な事業運営を図ってまいります。

介護・障害サービス事業・施設の運営や経営においては、2024年度の介護報酬等の概要が国から発表され、介護報酬は1.59%のプラス改定、障害福祉報酬は1.12%のプラス改定となりました。しかしながら、法人も運営している訪問介護については、身体介護や生活援助など、すべての報酬が減額(△2～3%)となり、法人の介護事業全体では大きく影響しています。コロナ感染症による利用者の減少、2022年来のエネルギーコストや物品等の高騰への対応など、様々な課題が浮上する中であっても、利用者喜んでいただける良質で効率の良い事業展開への見直しを求められており、職員の英知を結集し課題の解決に向け、真摯に取り組んでまいります。

総務部門では、令和8年度からの「第4次運営・事業実施計画」の策定を見据え、法人運営の「礎」となる「財政計画」策定の取組みを進めます。地域福祉部門、介護・障害サービス部門間に横串を入れ、法人のあるべき姿、進むべき道を改めて確認しつつ、将来の目指すべき姿の構築に向けて各部門の整合性を図りながら策定の取組を進めます。

また、引き続き、事務の合理化・効率化を図るために、人事管理システムに加え、勤怠管理システム・給与管理システム導入の検討を進めます。

法人が掲げる基本理念・行動理念のもと、社協の使命である「地域福祉の推進」はもとより、法人の財政の健全化、財政基盤の安定化に向け、なお一層、注力を注いでまいります。

## 重点項目・実施内容

### 誰からも信頼される社協づくり

#### 1. 地域をつなぐ社会福祉協議会としての社会的責任・役割を果たすための機能強化

##### (1) 法人管理体制の強化

項目	内容	目標
① 本所・支所の機能構想(組織再編)に向けた取組	大島、浦川原、安塚エリアにおけるモデル展開の実施	モデル実施の検証を行い、他エリアへの展開、組織体制の見直しに向けて課題、対応策等を整理する。

項目	内容	目標
② 安全衛生推進における表彰制度の充実	年間事故発生件数がゼロの事業所を新たに表彰し、その取組内容を周知することで、法人全体の事故防止意識を高めるとともに対策の強化を図る。	令和7年4月に表彰を実施。

項目	内容	目標
③ 健康経営に関する取組の強化	令和5年度に設置した法人全体の「健康経営推進委員会」を中心に健康に関する職員アンケートを実施するとともに、健康増進を図る効果的な取り組みを検討、実施する。	職員の健康意識を高め、自ら個別目標を設定し実践していく風土をつくる。

##### (2) 情報発信の強化および情報管理体制の強化

項目	内容	目標
① 情報発信ツールの利活用の検証	・X(旧ツイッター)、フェイスブックにより継続的に情報を発信していくとともに、ホームページ上にアップするYouTubeの効果的な活用について検討し、実践していく。 ・統一広報の紙面構成等に関する市民アンケートを実施する。	令和5年度に実施したSNSの導入や広報紙面の変更について市民を対象に調査し、結果を分析する。

項目	内容	目標
② 情報セキュリティ対策、情報システム内部統制の強化	・情報セキュリティ対策基本方針を策定するとともに、セキュリティシステム導入に向けた検討を進める。 ・人事管理システムの迅速なデータ変更入力及び適正な運用に努める。	・基本方針の策定及びセキュリティシステム導入に関するメリット・デメリットの整理 ・人事管理システムの適切な運用・管理。

### (3)危機管理体制の強化

項目	内容	目標
① 上越市災害ボランティア連携推進会議の体制強化	災害発生時の対応力強化のために災害ボランティア連携推進会議を開催する。	年4回の実施。

項目	内容	目標
② 災害に対する対応力の強化	能登半島地震発生における対応の検証結果を踏まえた行動基準、対応マニュアルを見直す。	行動基準、対応マニュアルの見直し。

## 2. 確実に事業を実施していくための健全な法人運営

### (1)適正な財務運営

項目	内容	目標
① 財政計画の策定に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次運営・事業実施計画の策定に向け、財政的視点を持って各部門の計画を策定及び既存計画の整理を行う。</li> <li>・各部門の関連課題等を整理するとともに整合性を図り、法人の中期的方向性を明確にして財政計画の策定につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政的視点を持った各部門計画の策定及び既存計画の整理。</li> <li>・法人の方向性及び事業展開の整理。</li> </ul>

項目	内容	目標
② 地域の将来を見据えた施設のあり方の検討	事業廃止等による施設のあり方や活用方法についての検討。	施設と事業の整理。

### (2)人材の確保と活用

項目	内容	目標
① 雇用計画に基づく人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期新卒採用試験の実施及び大学、短大、専門学校訪問の実施により学校との関係性を強化し、人材確保を図る。</li> <li>・介護職等の確保に向け、既卒者や経験者の常時応募を受け付け、適宜採用試験を実施する。</li> <li>また、高校生や外国人留学生の確保に向けた計画策定及び取り組みを進める。</li> </ul>	法人運営、事業展開の中期的方向性に基づく必要人員の確保。

項目	内容	目標
② 人事評価制度の導入に向けた検討	評価者が評価基準を共有し、適切な評価、評価結果に基づいたフィードバックを行うための「考課者研修」を実施するとともに、新たな人事評価表を活用した職員育成面談により人材育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価者となる役職者に対し、「考課者研修」を実施。</li> <li>・新たな人事評価表を活用した職員育成面談を2回実施。</li> </ul>

### 3. 社会福祉協議会職員としての使命・役割を遂行するための人材育成

#### (1)人材育成体制の充実

項目	内容	目標
① 人材育成基本方針に基づく取組の実践	研修体系の整理により研修不足が把握された「接遇」に関する研修について、人材育成基本方針に基づき、組織として必要な職務能力の育成を目的として位置づけ、外部による研修を実施し職員の資質向上を図る。	外部による接遇研修の実施。

#### (2)人材育成研修の強化

項目	内容	目標
① 階層別研修の実施	外部講師による「1等級」の階層別研修（接遇研修含む）及び「2等級」の接遇研修を実施する。	6月から9月に実施。

## 住民主体による地域福祉の推進・拡充

### 1. 一人ひとりを大切にする地域づくり

#### (1)地域アセスメントの強化

項目	内容	目標
① 「地域アセスメントシート」の導入	「地域アセスメントシート」を有効活用し、地域の概要や社会資源、福祉事業・活動の内容等を整理・分析する。	全支所で実施。

#### (2)お互いを認め合える福祉教育の推進

項目	内容	目標
① 保育園・幼稚園・小中学校・高等学校への福祉教育の実施	小学校、中学校、高校、大学、住民、企業、関係団体等に対象を広げ、求められるプログラムに対応した有効な福祉の周知・啓発を図る。	延 120 回の実施。

項目	内容	目標
② 権利擁護に関する講座の実施	市民や関係機関・団体等を対象に、職員による出前講座、専門家によるミニ講座を実施し、権利擁護の周知を図る。	延 30 回の実施。

### 2. 地域を担う様々な人材が溢れる地域づくり

#### (1)福祉活動の担い手の養成・育成と活動支援

項目	内容	目標
① 地域福祉活動に関するボランティア講座の実施	福祉活動の担い手の発掘や養成、育成を進めるとともに、すでに地域で行われている活動の継続や活性化を図るため、ボランティア講座を実施する。	延 30 回の実施。

項目	内容	目標
② ボランティアセンターの体制強化	法人内の課・支所や事業の垣根を越えたボランティア人材情報を有効活用する仕組みを構築する。	人材情報を有効に活用する。

### 3. それぞれの特色を活かして支え合いの活動がつながる地域づくり

#### (1)持続性のある地域福祉活動の推進

項目	内容	目標
① 地区地域福祉活動計画の策定	上越市地域福祉活動計画を実践していくため、地域自治体を基本的な単位として地域懇談会やアンケート調査等を実施し、住民の声を聴き取りながら個別の「地区地域福祉活動計画」を策定する。	計 20 地域自治体での策定。

#### (2)圏域に応じた福祉活動の推進

項目	内容	目標
① 住民福祉会の設置	地域自治体を基本的な単位として、住民が主体的に独自性のある福祉活動を実践する基礎組織「住民福祉会」の普及に努める。	計 22 地域自治体での設置。

項目	内容	目標
② 新規サロンの立ち上げ	町内会単位を主とした住民同士の交流の場をつくる「ふれあい・いきいきサロン」の活動の継続支援と未実施地区の新規立ち上げを図る。	新規サロンの立ち上げ 5 か所。

#### (3)関係団体の主体的な活動のための支援

項目	内容	目標
① 団体事務局の移管に向けた取組	13 支所で事務局を担う各団体に対し、事務局の移管を基本としながらも、個別の事情や考えを確認し必要な協議又は支援を行う。	各団体の状況変化に応じた支援。

## 利用者本位の福祉サービスの強化

### 1. つながりを深める支援体制の強化

#### (1)権利擁護支援体制の強化

項目	内容	目標
① 日常生活自立支援事業 生活支援員の確保	利用者が地域で安心して生活ができるよう定期的に訪問し支援する生活支援員を確保する。	利用者数の 50% 以上の支援員登録。

項目	内容	目標
② 法人後見事業の実施	上越市による成年後見中核機関の整備に協力するとともに、法人後見の安定した継続運営に努める。	総受任件数 35 件。

#### (2)相談支援体制の強化

項目	内容	目標
① 地域とのネットワーク強化	事例研究会を開催し、問題解決力の強化に取り組む。法人内外の専門職連携を図りながら、相談支援体制の充実を図る。	事例研究会を年 1 回以上開催。

### (3)地域と連携した支援体制の強化

項目	内容	目標
② 介護者教室等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護等サービス利用者の家族や、地域住民を対象に介護教室や介護予防教室などを計画、実施する。</li> <li>・「事業所だより」や SNS の動画等を用いてわかりやすい情報提供を行う。</li> </ul>	事業所ごとに地域活動を実践。

## 2. 個別ニーズに対応した専門性の向上

### (1)在宅福祉サービスの専門性の向上

項目	内容	目標
① 障害支援の理解向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害支援事業所間で研修会を開催し、障害福祉の理解を深め、職員の育成を図る。</li> <li>・強度行動障害の研修受講を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会を年 1 回以上開催。</li> <li>・2 名以上の研修受講。</li> </ul>

項目	内容	目標
② 地域生活支援拠点間連携強化	新たに拠点間連携協定を締結した 4 法人の連携強化を図り、障害相談援助の質を高める。	4 法人間の協力体制構築。

### (2)福祉サービスの質向上の取組

項目	内容	目標
① 事業評価の実施	特別養護老人ホームで福祉サービス第三者評価を受審する。	受審内容の反映による事業全体の質の向上。

項目	内容	目標
② 機能訓練の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援、重度化防止に資する機能訓練を提供する。</li> <li>・利用者のニーズに基づいた機能訓練等を複合事業所を中心に介護リハビリ支援ソフトを導入し機能訓練の実施体制を強化する。</li> </ul>	科学的介護情報システム「LIFE」の活用と自立支援の推進。

項目	内容	目標
③ サービスの自己評価の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートに加え、職員アンケートを実施する。</li> <li>・アンケートの結果をサービスの改善、向上に活用する。</li> </ul>	介護、障害支援の質の改善。

項目	内容	目標
④ 業務手順、文書等取扱いの整備推進	内部監査の結果を踏まえ、法人の規定に従い業務手順や文書の取扱いについて整備を進める。	内部統制の強化と業務の効率化、事務負担の軽減。

### 3. 地域ニーズを活かした福祉サービスの提供

#### (1) 運営状況の分析と把握

項目	内容	目標
① 経営支援会議の実施	・介護事業の経営が厳しい状況と事業継続を踏まえ、地域の状況や介護サービスのニーズを把握する。 ・経営状況を把握、分析するとともに経営改善に取り組む。	収益改善と事業継続。

項目	内容	目標
② 事業所管理者会議の定期開催	事業所管理者会議を定期開催し、目標に向かう進捗状況の確認を行うとともに、管理者間の意見、情報交換の機会を確保し、管理者支援を行う。	必要な事業改善に向けた取組の具体化。

項目	内容	目標
③ 業務効率化、事務軽減の取組推進	介護ロボットや記録タブレットの有効性を検証し、業務の効率化と事務軽減の具体策を推進する。	介護・障害支援事業所における業務改善。

#### (2) 地域に応じた福祉サービスの展開

項目	内容	目標
① 障害福祉サービス共同生活援助の新規開設準備	柿崎区「ふれんどり～ホームうらはま」に続く障害グループホーム2棟目の開設に向けて準備を進める。	令和8年度事業開設。

## 主な取組・実施事業

### 法人運営

1	各種会議の実施	・理事会、評議員会、監事会、評議員選任・解任委員会 ・専門部会 （総務運営専門部会、地域福祉専門部会、介護サービス事業専門部会） ・正副専門部会長会議 ・正副会長会議、本部会議、管理職会議 ・安全衛生委員会、広報委員会、障害者雇用推進委員会、健康経営推進委員会 ・地域福祉推進委員会(13支所)
2	監査の実施	・会計監査人監査 ・監事監査(年1回) ・内部監査(年2回2班で実施)
3	規程等の改廃	必要時実施
4	苦情受付対応	随時実施
5	役員外部研修	計画実施
6	職員内部研修	計画実施



7	ホームページの運用管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書及び資金収支予算書の開示</li> <li>・社協だより掲示</li> <li>・事業報告書及び決算報告書の開示</li> <li>・各種助成事業、表彰、後援会、セミナー、イベント、バナー広告等の案内</li> <li>・ツイッター、フェイスブックによる情報発信</li> <li>・ショートステイ空き情報提供システムの運用</li> </ul>
8	広報の発行状況管理	統一広報社協だよりの発行、支所だより(瓦版)の発行
9	報道機関等との連携、情報提供	有線放送電話協会、新潟日報、上越タイムス、上越よみうり 他
10	他団体への協力	町内会、民生児童委員協議会、地域包括支援センター、老人会、地区振興会、24HTV チャリティー委員会、市内企業他
11	実習生の受け入れ	社会福祉士、インターンシップ、教員資格等

## 地域福祉

1	地区地域福祉活動計画の策定	<p>「上越市地域福祉活動計画」の推進を図るため、地域自治区ごとの「地区地域福祉活動計画」を地域の方々と共に策定し、その取組をサポートする。</p> <p>令和5年度末で11地区策定済</p> <p><b>[令和6年度目標:新規9地域自治区で「地区地域福祉活動計画」を策定]</b></p>
2	住民福祉会設置事業	<p>地域自治区を単位として、地域の方々が主体的に独自性のある福祉活動を実践していく「住民福祉会」の設置・普及に努め、活動や運営面の支援を行うことで、地域福祉の推進を図る。</p> <p>令和5年度末で18地区設置</p> <p><b>[令和6年度目標:新規4地域自治区で設置]</b></p>
3	地域懇談会事業	<p>地域の方々の福祉課題やニーズを把握し、自分事として共に考える機会として、小地域での懇談会を実施する。</p> <p>また、社協の活動に関する意見や要望を聴き取り、取組の見直しや整備を図る。</p> <p><b>[令和6年度目標:90回実施]</b></p>
4	福祉教育推進事業	<p>主に小、中学校の児童、生徒に対し、授業の中で「福祉」について学ぶ機会をつくり、子どもの頃から「お互いを認め、支え合う」意識づけを図る。</p> <p><b>[令和6年度目標:保育園・小学校・中学校・高校で延120回実施]</b></p>
5	ボランティアセンター事業	<p>市民によるボランティア活動が広がるよう、活動の情報発信を強化するとともに、ボランティアコーディネート、ボランティア保険の加入手続き等を行う。</p> <p>また、事業を通じたボランティアの発掘や「養成」、「育成」講座等の実施、功労者表彰等により、活動者の拡大に努める。</p> <p><b>[令和6年度目標:ボランティア講座延30回実施]</b></p>
6	ふれあいいいききサロン事業	<p>町内会を基本的な範囲として、高齢者などが気軽に集えるサロンの設置を進め、活動や運営をサポートし、地域での自主的な取組を支援する。</p> <p><b>[令和6年度目標:新規5カ所設置 サロン交流会を14回実施]</b></p>
7	“ほっと安心”生活サポーター事業	<p>ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、障がいのある方やひとり親世帯等を対象に「生活サポーター(登録されている提供会員)」が家事援助を中心とした生活のお手伝いを行う。</p> <p><b>[令和6年度目標:提供会員登録65名]</b></p>
8	心配ごと相談事業	<p>全支所に相談窓口を設け、市民の困りごとや心配ごとに応じ、関係機関等と連携を図りながら問題の解決に向けた支援を行う。</p>

9	権利擁護推進事業	市民や関係機関、団体等に権利を護るための制度や事業等を知ってもらうため、職員が依頼先に出向いて実施する「権利擁護出前講座」と専門家による「権利擁護ミニ講座」を開催する。 [令和6年度目標:延30回実施]
10	法人後見事業	認知症や知的障害、精神障害等により判断能力がない、もしくは十分でない方の権利を護るため、社協が家庭裁判所からの依頼に応じ、法的代理人として「身上保護」や「財産管理」などを行う。 [令和6年度目標:総受任件数35件]
11	災害対策事業	災害の発生に備え、関係機関、団体等との連携を図り、発災時には「災害ボランティアセンター」を設置・運営し、被災者の復旧・復興支援に努める。 [令和6年度目標:連携推進会議 年4回実施：関係機関等との協働による災害ボランティアセンター設置 運営訓練 年1回実施]

## 介護・障害福祉サービス

1	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援の理念のもとに、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けたいという願いを支援する。</li> <li>人口減少、高齢化が進む地域社会で必要な介護・障害サービスの提供を継続する。</li> </ul>																						
2	居宅介護支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>アセスメント、ケアプランの質向上を図る。</li> <li>関係機関との連携を図り、サービスの効果的な提供に努める。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業所名称</th> <th>休日</th> <th>開設日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上越居宅介護支援事業所</td> <td rowspan="9">土・日、 国民の祝日、年末年始</td> <td>2000. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>東頸居宅介護支援事業所</td> <td>2023. 8. 10</td> </tr> <tr> <td>大潟居宅介護支援事業所</td> <td>2000. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>頸城居宅介護支援事業所</td> <td>2000. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>柿崎・吉川居宅介護支援事業所</td> <td>2019. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>板倉居宅介護支援事業所</td> <td>2000. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>三和居宅介護支援事業所</td> <td>2000. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>名立居宅介護支援事業所</td> <td>2001. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>清里・牧居宅介護支援事業所</td> <td>2023. 8. 1</td> </tr> </tbody> </table>	事業所名称	休日	開設日	上越居宅介護支援事業所	土・日、 国民の祝日、年末年始	2000. 4. 1	東頸居宅介護支援事業所	2023. 8. 10	大潟居宅介護支援事業所	2000. 4. 1	頸城居宅介護支援事業所	2000. 4. 1	柿崎・吉川居宅介護支援事業所	2019. 4. 1	板倉居宅介護支援事業所	2000. 4. 1	三和居宅介護支援事業所	2000. 4. 1	名立居宅介護支援事業所	2001. 4. 1	清里・牧居宅介護支援事業所	2023. 8. 1
事業所名称	休日	開設日																						
上越居宅介護支援事業所	土・日、 国民の祝日、年末年始	2000. 4. 1																						
東頸居宅介護支援事業所		2023. 8. 10																						
大潟居宅介護支援事業所		2000. 4. 1																						
頸城居宅介護支援事業所		2000. 4. 1																						
柿崎・吉川居宅介護支援事業所		2019. 4. 1																						
板倉居宅介護支援事業所		2000. 4. 1																						
三和居宅介護支援事業所		2000. 4. 1																						
名立居宅介護支援事業所		2001. 4. 1																						
清里・牧居宅介護支援事業所		2023. 8. 1																						
3	訪問介護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の意思と人格を尊重し、常に利用者の立場に立った訪問介護サービスを提供する。</li> <li>医療・看護の連携を図りながら頼りがいのある事業所を目指す。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業所名称</th> <th>休日</th> <th>開設日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヘルパーステーション上越</td> <td rowspan="5">年中無休</td> <td>1993. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>ヘルパーステーション安塚</td> <td>1994. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>ヘルパーステーション柿崎</td> <td>2013. 8. 1</td> </tr> <tr> <td>ヘルパーステーション上越北</td> <td>1994. 9. 1</td> </tr> <tr> <td>ヘルパーステーション上越南</td> <td>1988. 4. 1</td> </tr> </tbody> </table>	事業所名称	休日	開設日	ヘルパーステーション上越	年中無休	1993. 4. 1	ヘルパーステーション安塚	1994. 4. 1	ヘルパーステーション柿崎	2013. 8. 1	ヘルパーステーション上越北	1994. 9. 1	ヘルパーステーション上越南	1988. 4. 1								
事業所名称	休日	開設日																						
ヘルパーステーション上越	年中無休	1993. 4. 1																						
ヘルパーステーション安塚		1994. 4. 1																						
ヘルパーステーション柿崎		2013. 8. 1																						
ヘルパーステーション上越北		1994. 9. 1																						
ヘルパーステーション上越南		1988. 4. 1																						

4	通所介護事業	利用者の個別ニーズに合わせた日中の活動を提案し日常生活能力の維持、向上を図る。																																																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業所名称</th> <th>休日</th> <th>定員</th> <th>開設日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デイサービスセンター 謙信高志の里</td> <td>年中無休</td> <td>30</td> <td>1991. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>デイホームやちほ</td> <td>年中無休</td> <td>18</td> <td>1996. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>デイホーム有田</td> <td>年中無休</td> <td>18</td> <td>1998. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>デイサービスセンター 安塚やすらぎ荘</td> <td>年中無休</td> <td>33</td> <td>2012. 8. 1</td> </tr> <tr> <td>浦川原高齢者生活福祉センター</td> <td>年中無休</td> <td>25</td> <td>1995. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>牧デイサービスセンター やまゆりの家</td> <td>土・日曜日</td> <td>18</td> <td>1992. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>大潟デイサービスセンター やすらぎの家</td> <td>日曜日</td> <td>30</td> <td>1991. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>頸城デイサービスセンター 無憂の里</td> <td>土・日曜日</td> <td>33</td> <td>1997. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>頸城デイサービスセンター はながさの里</td> <td>金・日曜日</td> <td>20</td> <td>1992. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>くびきの里 デイサービスセンター</td> <td>年中無休</td> <td>35</td> <td>2004. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>吉川デイサービスセンター あじさいの家</td> <td>年中無休</td> <td>18</td> <td>1992. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>いこいの里あさひデイサービス センター</td> <td>年中無休</td> <td>30</td> <td>2010. 6. 7</td> </tr> <tr> <td>みやじまの里第一清心荘 (一般型)</td> <td>日曜日</td> <td>30</td> <td>1991. 6. 1</td> </tr> <tr> <td>みやじまの里第一清心荘 (認知症対応型)</td> <td>日曜日</td> <td>10</td> <td>1996. 11. 1</td> </tr> <tr> <td>みやじまの里第二清心荘</td> <td>土曜日</td> <td>25</td> <td>1999. 8. 1</td> </tr> <tr> <td>三和デイサービスセンター すいせんの里</td> <td>年中無休</td> <td>30</td> <td>2000. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>名立デイサービスセンター 椿寿苑</td> <td>日曜日</td> <td>33</td> <td>1995. 4. 1</td> </tr> <tr> <td>デイサービスセンター ふれあいの家</td> <td>日曜日 1月1日</td> <td>18</td> <td>2022. 4. 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※休止中の三和デイサービスセンター美杉の里は事業指定の更新ができないため令和5年末をもって廃止。</p>	事業所名称	休日	定員	開設日	デイサービスセンター 謙信高志の里	年中無休	30	1991. 4. 1	デイホームやちほ	年中無休	18	1996. 4. 1	デイホーム有田	年中無休	18	1998. 4. 1	デイサービスセンター 安塚やすらぎ荘	年中無休	33	2012. 8. 1	浦川原高齢者生活福祉センター	年中無休	25	1995. 4. 1	牧デイサービスセンター やまゆりの家	土・日曜日	18	1992. 4. 1	大潟デイサービスセンター やすらぎの家	日曜日	30	1991. 4. 1	頸城デイサービスセンター 無憂の里	土・日曜日	33	1997. 4. 1	頸城デイサービスセンター はながさの里	金・日曜日	20	1992. 4. 1	くびきの里 デイサービスセンター	年中無休	35	2004. 4. 1	吉川デイサービスセンター あじさいの家	年中無休	18	1992. 4. 1	いこいの里あさひデイサービス センター	年中無休	30	2010. 6. 7	みやじまの里第一清心荘 (一般型)	日曜日	30	1991. 6. 1	みやじまの里第一清心荘 (認知症対応型)	日曜日	10	1996. 11. 1	みやじまの里第二清心荘	土曜日	25	1999. 8. 1	三和デイサービスセンター すいせんの里	年中無休	30	2000. 4. 1	名立デイサービスセンター 椿寿苑	日曜日	33	1995. 4. 1	デイサービスセンター ふれあいの家	日曜日 1月1日	18	2022. 4. 1
		事業所名称	休日	定員	開設日																																																																									
		デイサービスセンター 謙信高志の里	年中無休	30	1991. 4. 1																																																																									
		デイホームやちほ	年中無休	18	1996. 4. 1																																																																									
		デイホーム有田	年中無休	18	1998. 4. 1																																																																									
		デイサービスセンター 安塚やすらぎ荘	年中無休	33	2012. 8. 1																																																																									
		浦川原高齢者生活福祉センター	年中無休	25	1995. 4. 1																																																																									
		牧デイサービスセンター やまゆりの家	土・日曜日	18	1992. 4. 1																																																																									
		大潟デイサービスセンター やすらぎの家	日曜日	30	1991. 4. 1																																																																									
		頸城デイサービスセンター 無憂の里	土・日曜日	33	1997. 4. 1																																																																									
		頸城デイサービスセンター はながさの里	金・日曜日	20	1992. 4. 1																																																																									
		くびきの里 デイサービスセンター	年中無休	35	2004. 4. 1																																																																									
		吉川デイサービスセンター あじさいの家	年中無休	18	1992. 4. 1																																																																									
		いこいの里あさひデイサービス センター	年中無休	30	2010. 6. 7																																																																									
		みやじまの里第一清心荘 (一般型)	日曜日	30	1991. 6. 1																																																																									
		みやじまの里第一清心荘 (認知症対応型)	日曜日	10	1996. 11. 1																																																																									
		みやじまの里第二清心荘	土曜日	25	1999. 8. 1																																																																									
		三和デイサービスセンター すいせんの里	年中無休	30	2000. 4. 1																																																																									
		名立デイサービスセンター 椿寿苑	日曜日	33	1995. 4. 1																																																																									
デイサービスセンター ふれあいの家	日曜日 1月1日	18	2022. 4. 1																																																																											
5	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	日常生活上の活動支援を行い、利用者一人ひとりの活動、役割を尊重することを通して認知症の進行緩和を図る。																																																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業所名称</th> <th>休日</th> <th>定員</th> <th>開設日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グループホーム安塚やすらぎ荘</td> <td>年中無休</td> <td>9</td> <td>2012. 8. 1</td> </tr> </tbody> </table>	事業所名称	休日	定員	開設日	グループホーム安塚やすらぎ荘	年中無休	9	2012. 8. 1																																																																				
事業所名称	休日	定員	開設日																																																																											
グループホーム安塚やすらぎ荘	年中無休	9	2012. 8. 1																																																																											

6	短期入所生活介護（ショートステイ）	利用者の生活の質向上と、家族の負担軽減を図り、在宅での日常生活継続を支援する。			
		事業所名称	休日	定員	開設日
		空床利用型障害福祉サービス(短期入所)			
		ショートステイ謙信高志の里	年中無休	9	2019. 10. 1
		安塚やすらぎ荘ショートステイ	年中無休	19	2012. 8. 1
		くびきの里ショートステイ	年中無休	12	2004. 4. 1
		いこいの里あさひショートステイ	年中無休	15	2010. 6. 7
コミュニティナイトホームすいせんの里	年中無休	8	2000. 4. 1		
特別養護老人ホームみねの園	年中無休	18	2022. 4. 1		
				該当なし	
7	特別養護老人ホーム	入浴、排泄、食事等の介護、相談援助、機能訓練、健康管理等の施設入所サービスにより、利用者の能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう支援する。			
		事業所名称	休日	定員	開設日
		特別養護老人ホームほほ笑よしかわの里	年中無休	40	2003. 7. 1
		特別養護老人ホームみねの園	年中無休	30	2022. 4. 1
8	地域包括支援センター	「地域包括ケアシステム」のコーディネーターとして地域にある様々な資源、支援を、包括的・機能的につなげ、地域生活を支援する。			
		事業所名称	休日	開設日	
		<b>新規</b> かすが地域包括支援センター	土・日、 国民の祝日、 年末年始	2024. 4. 1	
		浦川原地域包括支援センター		2006. 4. 1	
		安塚地域包括支援センター（サテライト）		2018. 4. 1	
		大島地域包括支援センター（サテライト）		2018. 4. 1	
		牧地域包括支援センター（サテライト）		2018. 4. 1	
		事業所名称	休日	開設日	
		吉川地域包括支援センター（サテライト） ※柿崎地域包括支援センターより委託	土・日、 国民の祝日、 年末年始	2018. 4. 1	

9	障害者就労支援事業所	障害のある方の就労、自立に向けて必要な支援を行う。			
		事業所名称/事業名	休日	定員	開設日
		ふれんどり～ミルはまなす	土・日、 国民の祝日、 年末・年始	—	—
		就労移行支援事業		3	2013. 4. 1
		就労継続支援B型事業		37	2013. 4. 1
		就労定着支援事業		なし	2018.10. 1
		板倉ふれあい工房	土・日、 国民の祝日、 年末・年始	—	—
		就労移行支援事業		4	2014. 4. 1
就労継続支援B型事業	15	2014. 4. 1			

10	障害者相談支援事業	一人ひとりの適性に合わせた自立支援を目指し、地域とともに社会の中で主体的に生活を送るための支援を行う。活用できる情報の提供、サービスの利用支援や調整等を行う。		
		事業所名称	休日	開設日
		上越障害者相談支援事業所	土・日、 国民の祝日、 年末年始	2012. 4. 1

11	共同生活援助 (障害者グループホーム)	地域において自立した生活が送れるように、一人ひとりの能力・適性に合わせた日常生活を支援する。			
		事業所名称	休日	定員	開設日
		柿崎ふれんどり～ホームうらはま	年中無休	5	2019. 4. 1

12	生活介護事業	一人ひとりの能力に応じて必要な介護、支援を行うとともに創作活動、生産活動、余暇活動等により利用者の日常生活、社会生活を支援する。			
		事業所名称	休日	定員	開設日
		ふれんどり～ライフよしかわ	土・日、 国民の祝日、 年末・年始	20	2021. 4. 1

## 受託事業

### 1. 新潟県社会福祉協議会 受託事業

1	日常生活自立支援事業	認知症や知的障害、精神障害等により、判断能力に不安がある方が安心して生活できるよう、ご本人との契約により、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を行う。
2	生活福祉資金貸付事業	低所得世帯、障害のある方や介護を必要とする高齢者の世帯に対し、各種の資金貸付を行い、生活の安定と自立更生を図る。

## 2. 上越市 受託事業

1	手話通訳者等派遣業務	聴覚に障害のある方々のコミュニケーション支援のため、手話通訳士、手話通訳者、要約筆記者、要約奉仕員を派遣し、生活の支援や社会参加の促進を図る。
2	手話通訳・要約筆記養成等業務	視覚や聴覚に障害のある方々に対するコミュニケーション支援の担い手となる手話通訳者等を養成するため、手話奉仕員養成講座や要約筆記講習会、点字講習会、音声訳講習会等を開催する。
3	障害者生活訓練事業	障害のある方が生活を送る上で必要な知識や技術、制度等を習得するための生活訓練を実施する。
4	福祉相談業務	市役所の福祉総合窓口センターに手話通訳士もしくは手話通訳者を配置し、ろう者への対応を含めた市民からの相談対応や各種申請の受付等の窓口業務を行う。
5	地域支え合い事業	高齢者の介護予防、地域における自立した生活、心身の健康の保持を図るために必要な支援を行う。 地域に介護予防の重要性を啓発するとともに、協議体会議、すこやかサロン、介護予防教室等を実施し、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組む。
6	個別避難計画作成業務	地震や水害などの災害が発生した際に、高齢者や障害のある方など、自らでは避難が困難で、支援を必要とする方に対して地域(町内会)が行う支援内容を定める計画の作成を支援する。
7	新規 訪問型サービスB 運營業務 [5,973 千円]	高齢者を地域で支える仕組みとして実施する有償ボランティアによる家事支援のサービス調整を行う。また、訪問型サービスの利用促進のための普及・啓発活動に取り組む。
8	新規 訪問型サービスB 担い手育成事業 [1,120 千円]	訪問型サービスB事業が安定的にサービス提供できるよう、担い手となる有償ボランティアを育成する。
9	新規 チームオレンジ整 備等事業 [3,309 千円]	地域で認知症の人やその家族を支えるために、チームオレンジ(※)の整備や認知症サポーターの養成、キャラバン・メイトの活動支援等を実施する。
10	新規 成年後見制度中核 機関運營業務 [14,065 千円]	権利擁護支援の地域連携ネットワークを構築し、相談体制を整えるとともに、成年後見制度の普及啓発や後見人の支援、関係機関の連携強化等の取組を推進する。
11	上越市産前・産後 ヘルパー派遣事業	母親が産前又は産後に体調不良等のために家事又は育児を行うことが困難な世帯にホームヘルパーを派遣し、援助を行うことにより、母親の心身の健康維持を目的にする。
12	地域包括支援セン ター運營業務 [かすが 29,562 千円]	地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。
13	地域生活支援拠点 等強化事業	地域全体で障害のある人を支える体制の強化を図るため、市内 4 法人が地域生活支援拠点として連携し、相談業務への支援、緊急時受け入れ体制の強化、地域の体制づくり等を促進する。

### ※ チームオレンジとは

認知症の人とその家族、地域住民サポーター、多職種の職域サポーター等、一定の研修を受けたメンバーがチームを組んで活動する。認知症の人の話相手や見守りなど、チームで早期から継続支援の活動を行う。

14	高齢者生活支援ハウス事業 (指定管理)	高齢等のため独立して在宅で生活することに不安のあるひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯を対象に住まいを提供し、相談援助や緊急時の対応を行う。				
		事業所名称	定員	1人部屋	2人部屋	指定管理期間
		浦川原生活支援ハウス	10	6	2	令和4年～8年度
		頸城生活支援ハウス	10	8	1	令和4年～8年度
		板倉生活支援ハウス	12	8	2	令和4年～8年度
		名立生活支援ハウス	15	11	2	令和4年～8年度
清里生活支援ハウス	14	12	2	令和4年～8年度		
15	菱の里(指定管理)	やすづか学園に通う子ども達が基本的な生活習慣を身につけ、集団生活のルールやマナー、仲間との人間関係づくりなど、お互いの考え、気持ちの理解や生き方を学ぶ生活の場(寮)として運営する。				

#### 4. 上越市 補助事業

1	やすづか学園	不登校相談室の開設による個別相談対応等により、不安の解消や状況の改善に向けた支援を行い、不登校や引きこもりで悩む子どもたちの「心の居場所」として運営する。	
		在籍者数等 (単位:人)	
		学 年	人数 出身地
		小学4年生	1 市内(1)
		小学5年生	0 ー
		小学6年生	3 市内(2) 市外(1)
		中学1年生	4 市内(4)
		中学2年生	11 市内(6) 市外(5)
		中学3年生	8 市内(5) 市外(3)
		合 計	27 市内(18) 市外(9)
※ 令和6年3月1日現在			
[補助金額 23,045 千円]			